

教育事業別報告書

事業名	自然体験活動指導者のための研修講座 アウトドアのプロになろう！
趣 旨	子どもたちに自然体験活動をすすめるためには、その指導者が実際に様々な自然体験をしていることが望ましい。しかし、現実的には自然体験指導者（教員も含む）の中には、自ら幅広く自然体験活動に取り組んでいる指導者は少ない。そこで、那須甲子少年自然の家を拠点とし、各活動の専門家を講師に、指導者に幅広い自然体験活動をしてもらうことで、子どもたちへの自然体験活動推進をする可能性を広げていく。
期 間	第1回 平成25年 5月25日(土)～26日(日)「赤十字救急法基礎講習の資格を取得しよう！野外炊飯をしよう！」 第2回 平成25年 6月22日(土)～23日(日)「プロジェクト・ワイルド、プロジェクト・ウェットの資格を取得しよう！」 第3回 平成25年 7月 6日(土)～7日(日)「阿武隈川源流雄滝雌滝を見に行こう！」 第4回 平成25年 9月 7日(土)～8日(日)「秋の那須岳～甲子山～大白森山～二岐温泉への縦走をしよう！」 第5回 平成25年10月 5日(土)～6日(日)「マウンテンバイクを乗りこなそう！」 第6回 平成26年 2月 1日(土)～2日(日)「これができたらアウトドア上級者雪中キャンプを体験しよう！」
募集人員 (募集結果)	青少年の体験活動に興味関心のある18歳以上の者 各回20名 (のべ参加者人数49人：内 大学生0人，社会人49人) 第1回 6名 第2回 11名 第3回 10名 第4回 11名 第5回 11名 第6回 13名

① 事業の特色

青少年の体験活動に指導者として関わる方を対象に、様々なアウトドアでのスキルアップを図るプログラムを実際に経験することで、成果として指導者の資質向上につながると考えた。研修内容は「日赤」の資格を取得するものや、「源流探検」「縦走登山」「マウンテンバイク」「雪中キャンプ」など全6回を通して、それぞれの季節にあわせたプログラムを企画した。



【日赤救急法基礎講習】



【プロジェクト・ワイルド講習】



【那須岳縦走登山】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

- 参加者のスキルアップとともに、参加者がそのスキルアップを今後に生かすために、ボランティア研修などに参加し、法人登録ボランティアとして活動する方もおり、広がりを見せている。
- 事業を通して、参加者のスキルアップが図られたことは、当初の仮説や事業のねらいに合致するものであった。
- どの研修においても、ひとりでは体験するのが難しいものがほとんどであり、講師や参加者同士が協力して、様々な自然体験をすることができたことに感激していた。

<事業の課題>

- 指導者のためのということで、学校の教員の参加者も想定していたが、教員の参加者が少ないので、今後の広報活動も含めて、教員の参加者を増やしていきたい。

③ その他

今後、子どもたちの自然体験活動推進のために、指導者のスキルアップを図り、継続的に研修する必要がある。